



たかまつし かがわとしょかん

ぶくぶくぶっく

7
8 9 月

No. 81 (令和8年7月1日発行)



かがわとしょかん
マスコット
「りゅーまくん」

ことし
今年もあつい^{なつ}夏がやって
きた！すずしいところで
いっぱい^{ほん}本をよんでね！

あたらしくはいった おすすめのほん

『ちいさなちいさなだいぼうけん！』

くろいわ 黒岩 まゆ／作 さく E／クロ おおいずみしよてん 大泉書店

こうえん 公園であそんでいた「しょうちゃん」が^であ出会ったのは、「リトル」というなまえの^{ちい}小さな^{うちゅうじん}宇宙人！？おとうとをさがしているというリトルのために、しょうちゃんも^{ちい}小さくなって、いっしょにさがしてあげることに。

めいろや^{さが}探しものであそびながら、しょうちゃんといっしょにぼうけんしよう！



『イチからつくる蚊とり線香』

ゆざわ のりこ へん 湯澤 規子／編 619／イチ のうさんぎょそんぶんかきょうかい 農山漁村文化協会



なつ 夏になるとあらわれる^{きら}嫌われものの^{むし}虫、蚊。そんな^{とき}時にかかせないのが蚊とり^{せんこう}線香です。

どうして蚊は蚊とり^{せんこう}線香をたくとよってこなくなるの？蚊とり^{せんこう}線香は何^{なに}でできているの？そんな疑問に、^{ぎもん}線香をつくる^{せんこう}過程をイチから^{かてい}写真で説明しながら^{しゃしん}答えてくれます。蚊とり^{せんこう}線香をくわしく知るのにオススメの^{さつ}1冊です。



夏を感じよう



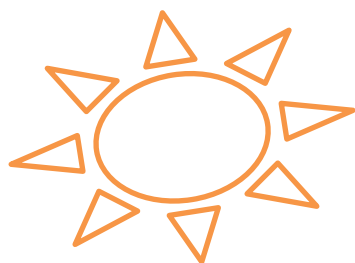
日本には4つの季節があり、それぞれの季節や、自然を楽しめるイベントがたくさんあります。特に太陽のひざしが強くなる夏は、自然も豊かで、いきものたちがいちばん元気になる季節です。あついただけじゃない夏のいいところをたくさん学んで、夏という季節をより深く感じてみませんか？

『知っているかな？ なつのぎょうじ』

おがわ 直之／監修

金の星社

E／ハヤ



むしあつい梅雨をぬけると、太陽がサンサンとてりつけるあつい夏がやってきます。夏のぎょうじには、あつさに負けないためのくふうがたくさんこめられています。いろいろなぎょうじを知って、夏をさらに楽しみましょう♪

『みつけた！ 職人さんの和のカタチ 1 線香花火』

瀬戸山 玄／文と写真

岩崎書店

502／セト／1

まっくらな夏の夜空。華やかに咲きほこる大きな打ち上げ花火。夏の風物詩の代表といえる花火ですが、手さぐりの小さくなくらやみでポッと灯る「線香花火」も、日本の夏に欠かせません。日本が誇る伝統的な和の文化を、ダイナミックな写真とともに紹介するこちらのシリーズ。1では福岡県の花火職人を訪ねて、伝統的な花火のつくりかたを学びます。



りゅーまくんの 子育て応援

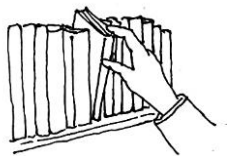


子どもを健やかに成長させるために必要な栄養素や、それらの栄養素をしっかり摂れる食べ物・料理をわかりやすく紹介しています。また子どもの栄養と健康に関するコラムや、疑問に答える Q&A など掲載されています。

『小児科医ママが教えた体・脳・心を育てる！子どもの食事』

工藤 紀子／著

日本文芸社 4939／クト



ハロー!! ティーンズ!!

～研究について考える～

研究とは、事実を調べて、深く考えることです。今回は研究した成果やきっかけについて書かれた本を集めてみました。
皆さんも、研究について一緒に考えてみませんか？



『ジャンボタニシに負けるな！

新たな米づくりへの挑戦』

谷本 雄治／著 あかね書房 616／タニ

派手なピンク色をした、ジャンボタニシの卵。成長すると稲を食い荒らしてしまう生き物です。環境保全のため、できるだけ農薬を使わず、手間も費用もかけずに駆除したい…。本書は困っている農家の人々を救うため、日々研究に取り組んでいる人々を追ったノンフィクションです。



『新種発見物語

足元から深海まで11人の研究者が行く！』

島野 智之・脇 司／編著 岩波書店 461／シン

実は地球上にはまだ数多くの、発見されていない生物がいます。その中には絶滅の危機にある生物もいるかもしれません。彼らを守り、生物多様性を守るには、発見・命名・研究することが不可欠です。本書を読めば、「新種発見」が意外と身近なものに感じられるかもしれませんよ。



おすすめCD



『太陽』

B I G I N 33／ヒキ

『Amazing』

S u p e r f l y 33／スハ

ひんやり心地よい音楽を聴いて、夏の暑さを忘れませんか？

図書館だより

編集・発行 高松市香川図書館
電話 087(879)8970



おすすめの本
紹介します



『人にちょっと話せるようになる 「昆虫学」』

盛口 満／著
ベレ出版 4861／モリ

室内・外を問わず、虫の多い季節になってきましたね。皆さんの中でも虫が嫌いな方は多いのではないのでしょうか？

この本は、いきなりゴキブリやクモといった嫌われ者の虫の話から始まります。昆虫の不思議に満ちた体の仕組みや生態を緻密な手書きイラストで学んでいくうちに、身近にいるにもかかわらず、知らなかったことが多いことに驚かされることでしょう。

思わず誰かに話したくなる虫の知識が満載で、いつのまにか虫嫌いが克服できちゃうかもしれませんよ！

『いま知りたい お米と農家の話』

農山漁村文化協会／編
農山漁村文化協会 6113／イマ

田んぼに水が張り、イネが育っています。近年は深刻な米不足や価格の高騰で、田んぼや農家のことが気になっている人も多いことでしょう。

この本は、農家の方の話を通して、食べる側である私たちの重要な役割に気づかせてくれます。

日本の米は日本の宝。水田があり、そこでイネが育っているおかげで私たちはたくさんの恩恵にあずかっています。農家がいなくなり、田んぼが消えてしまう…そんな怖いことにならないように、農家の方と一緒に、田んぼの明るい未来を考えてみませんか。

おはなし会

★おはなし会★	7月	8月	9月
おはなし紡ぎの会 11:00～11:30	—	1日 (土)	—
えいごのおはなし会 11:00～11:30 ※不定期(7/22, 8/26開催)	22日 (水)	26日 (水)	—
おはなしばんび 14:00～14:30	11日 (土)	—	12日 (土)
高松かたりの会 14:00～14:30	18日 (土)	—	19日 (土)

●図書館のイベント情報

☆公式 Instagram と Facebook でチェックしてください。



▲Instagram



▲Facebook